

新製品のご案内

すべての先生の「わかりやすい授業づくり」を支える ICT 教育機器

インタラクティブ書画カメラ（実物投影機）

L-12

エル・トゥエルブ

愛称：**みエルもん**

定価：92,400 円（本体価格：88,000 円）

2011年7月21日（木）より発売

株式会社エルモ社（本社：名古屋市瑞穂区明前町 6-14 代表取締役社長：竹内 清）は、平成 23 年 7 月 21 日（木）、学校や教育機関向けに「インタラクティブ書画カメラ（実物投影機） L-12（愛称：みエルもん）」を発売いたします。

「インタラクティブ書画カメラ L-12」は、製品本体に描画機能や録画・録音機能など電子黒板的機能を新たに搭載。姉妹製品である「ワイヤレス・ペンタブレット CRA-1（愛称：かけるもん）」とセットでお使いいただくことにより、PCレスでデジタルテレビやプロジェクタに投影された書画カメラの映像へのかき込みや保存を実現しました。

セットアップもきわめてシンプル。「インタラクティブ書画カメラ L-12」に、ワイヤレス・ペンタブレットの USB アダプタ（受信機）を差し込み、スイッチオン。これで、書画カメラで大きく写し出された教科書、子供のノートやワークブック画面へのかき込みが可能となります。

また、ワイヤレス・ペンタブレットは、「L-12」のズーム機能などをリモートでコントロールすることができるため、子どもたちの発表を教室後方からサポートしたり、机間指導しながら大画面へのかき込みを行って指導したりすることも可能となり、教員と児童のよりインタラクティブなコミュニケーションを実現します。



インタラクティブ書画カメラ

L-12 **みエルもん**

×



ワイヤレス・ペンタブレット
CRA-1

かけるもん

=



「みエルもん」で映した児童の作品に、「かけるもん」で注意点をかき込みしている様子

PCレスでより多くの先生がたや子供たちに使いやすいシステムを実現

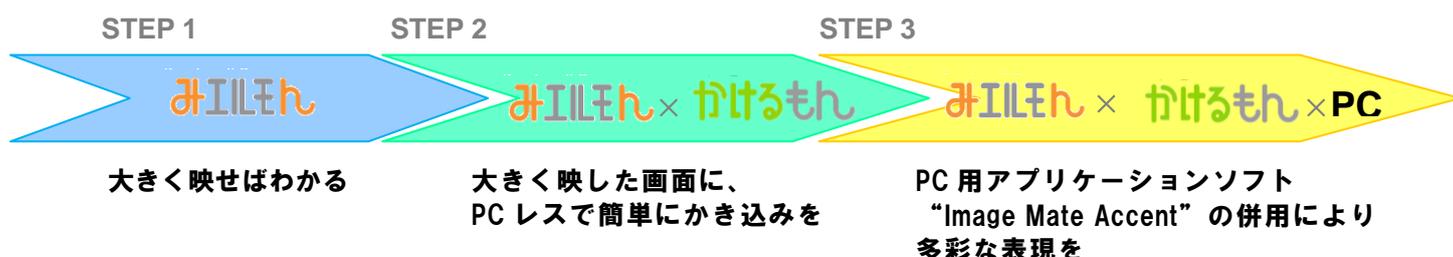
これまでエルモ社は、書画カメラのリーディング・カンパニーとして、世界の ICT 教育市場における書画カメラ普及に努めてまいりました。毎日の授業に書画カメラを使うことで、わかりやすい授業を展開できることが、世界各国の多くの教員の支持を受け、使いやすく効果的な ICT 機器として高い評価を受けております。

日本では 2009 年度の「スクールニューディール」政策により、小中学校の教室に約 20 万台のデジタル

テレビが設置され、現在、デジタルテレビに実物投影機を接続することにより、毎時間の授業でデジタルテレビが活用できることが注目され、従来にも増して各教室への実物投影機の整備が進んでおります。

エルモ社は今般の「インタラクティブ書画カメラ L-12」の発売により、姉妹製品である「ワイヤレス・ペンタブレット CRA-1」とのシステム連携がさらに簡単になり、より多くの先生がたに親しみやすく、使いやすい教育用 ICT 機器を提供できるようになると考えています。

「L-12」は、「3 ステップアップ型クラスルームソリューション製品」の中核に位置づけられ、教室環境や教員の希望、教員の ICT リテラシ、教育委員会や学校予算に応じて柔軟に ICT 教育システムの構築が可能となることで、これまで以上に多くの先生がたに満足していただけることを目指しております。



【L-12 の主な特長】

特長	機能と効果
高倍率ズーム 高画質	1. 12 倍光学ズーム及び高画質センサの採用で、細部も鮮明に映し出す。 2. 8 倍デジタルズームを合わせて、トータル 96 倍ズームが実現。 3. フルハイビジョン対応 (HDMI 出力) で、高精細デジタルテレビに対応。
使いやすさ	1. 300 度回転するアームと回転カメラヘッドで、あらゆる角度から映し出せ、置き場所を選ばない。 2. USB メモリ、SD カードへの録画・録音が可能。 3. 付属のリモコンを使えば、離れたところからも操作可能。ハイライト & マスク、コンペアピクチャ機能など一歩進んだ映し方が可能。
ワイヤレス・ペンタブレット CRA-1 との連携	1. PC レスで、実物投影した映像にリアルタイムでかき込み可能。 2. 書画カメラをリモートで操作可能。(通信距離: 約 15m) 3. ボタン一つで、簡単に録画録音・再生が可能。
アプリケーションソフトウエア	1. ワイヤレス・ペンタブレットに付属されているソフト “Image Mate Accent” を PC にインストールして使用することにより、より高度で多彩な表現を行うことが可能。

【書画カメラ（実物投影機）とは】

書画カメラとは、書類や立体物をテレビモニターやプロジェクタにリアルタイムに映し出す映像入力機器で、ズーム付きレンズにより映像の拡大縮小が自在にできます。市場では「実物投影機」「資料提示装置」とも呼ばれています。

近年、毎日の授業に便利で児童の理解度向上に役立つ、効果的な ICT (＊) 機器のひとつとして小・中学校への普及が進んでおります。

また、文部科学省の新学習指導要領に準拠した「教育の情報化に関する手引」においても、「教科指導における ICT 活用ー学校における ICT 環境整備」中で、普通教室における ICT 環境の整備機器として実物投影機(書画カメラ)が明記され、当該製品の情報教育への活用が推奨されています。

(＊) ICT とは、Information(情報) & Communication(コミュニケーション) Technology(技術)の略語です。授業で活用する ICT 機器には、書画カメラの他、パソコン、プロジェクタ、電子黒板等があります。

この件に関するお問合せ先
株式会社 エルモ社 ICT マーケティング部
電話: 03-3453-6477 FAX: 03-3453-6479 住所: 東京都港区三田 3-12-16 山光ビル 4 階

e-mail: ict@elmo.co.jp